

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 鶴見 悠太郎  
所属 (School) 工学域 機械系学類  
学年 (Grade) B4

留学先 (Name of overseas institution)  
IFREMER (フランス国立海洋開発研究所)  
留学期間 (study abroad period)  
2020/2/20~2020/3/20  
記入日 (Date) 2020/4/7

## 留学レポート Study Abroad Report

今回、つばさ基金による留学支援制度を利用し 2020 年 2 月 20 日~3 月 20 日までの 1 ヶ月間、ブレストにある IFREMER(フランス国立海洋開発研究所)に留学させていただきました。

### 【留学の経緯】

私の担当教員である二瓶先生からつばさ基金海外留学支援制度を使った留学を勧められたのがきっかけでした。また卒業研究で使用した流体解析ツールを使って研究を行っている IFREMER に先生の知り合いの研究員の方がいるとのことなので紹介していただき、留学先を決定しました。

### 【研究生活】

私が宿泊していた場所は研究所から少し離れていたためトラムとバスを乗り継いで通っていました。研究所は海に面しており、研究室やお昼ご飯を食べるレストランからはとても綺麗な景色が見えました。会話は基本英語で行っていましたが、フランス訛りの英語を聞き取るのにとっても苦労しました。また喋るのもなかなか単語が出てこず、もう少し渡航前に英語を勉強しておけばよかったと後悔しています。研究は洋上風力発電の浮体に取り付けられているダンピングプレート周りの流体の挙動について解析を行いました。解析に使用したツールは日本でも使用していたのでスムーズに研究を行うことができました。しかしコロナウィルスの影響で突然研究所が閉鎖され研究半ばで帰国することになりとても残念でした。

### 【現地での生活】

フランスに到着して最初の 2 日間はパリに滞在し、エッフェル塔や凱旋門、軍事博物館、ダリ美術館を観光しました。移動は基本的に地下鉄を使いました。改札口やホームに浮浪者がいたり切符を売りつけてくる人がいたり少し怖い雰囲気ではありましたが、切符の買い方や乗り方を教えてくれたり、お年寄りや女性の方に席を譲ったりなどととてもほとんどの人は優しい方が多かったように思います。またフランス人は全然英語を喋ってくれないなんて噂を日本では聞いていましたが、そんなことはありませんでした。



